

取組状況	
教育	<p>1. 第2学年の電気回路 20人体制の授業を実施し、基礎科目の少人数制クラスによる理解度向上を計った。実施した取組は、演習課題の実施、定期考査返却時のグループワークの2点を新規実施した。演習課題では、毎週の授業で30分の演習課題を実施し、点数のみを学生に通知・回答例や答案の返却を行わない形式とし、別途放課後に演習再挑戦時間を設けて、自学習を促した。</p> <p>2. 第3学年の電気電子工学実験実習II 新カリキュラム対応のため、実験テーマの刷新および指導書作成、新規テーマ実施を行なった。アクティブラーニングやEDの要素を取り入れ、年度当初はグループワークによる学生自身の実験プランの構築させ、実験の目的やねらいを受講側ではなく指導者側の視点を体験させた。また実験プランは実際に実施し、学生感での報告書チェック、グループで1通の模範レポート作成を行なった。 年度末には、コース教員の石崎准教授、小林教授、山本教授、実験担当教員と協力し学外から募ったテーマについてエンジニアリングデザインの授業を実施した。</p>
研究	<p>1. 査読付き国際会議に論文（共著：連名2番目）が採択 Koya Sato, Kei Inage, Takeo Fujii, "Spectrum Database-assisted Radio Propagation Prediction for Wireless Distributed Networks: A Geostatistical Approach," IEEE PIMRC 2016, Valencia, Spain, Sept. 2016.</p> <p>2. 国際ワークショップ（共著：連名2番目） Koya Sato, Kei Inage and Takeo Fujii, "Impact of Spectrum Database-assisted Any-to-Any Radio Propagation Estimation on Multihop Routing," Proc. SmartCom 2016, Oulu, Finland, May 2016.</p> <p>3. 国内学会大会発表（共著：連名3番目） 小野瀬圭太, 佐藤光哉, 稲毛契, 藤井威生, "屋内無線 LAN における電波伝搬特性の周波数相関性の検証," 電子情報通信学会総合大会 2017 B-17-2, March 2017.</p>
社会貢献	<p>1. 学校説明会のコース説明員 2. 体験入学講師 3. コース広報用ポスター作成</p>